（大正十年四月二十二日第三種郵便物認可）　昭和四年七月二十七日　［土曜日］一　磐城新聞　第二千五百九十五號（一）

二十六日夕刊
磐城新聞
休刊　大祭第二日曜
定價　壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵税十錢
廣告料　二行三十錢（指定廿錢増）
發行兼編輯印刷人　遠沼龍輔
發行所　福島縣平町田町拾六　磐城新聞社　電話五六四番

性感情と衣服

長岡加登晴

アダム、エブは眞赤裸で暮した、夏の朝凛々と湧き起る泉の辭に水浴する時も夏の眞晝木蔭の冷所で眠る時も星まばらな大空のした逍遥する時も身の一物も纏はなかつた。羞恥のない處の衣服は無用である。

アダム、エブは禁斷の木實を喰ふて始めて腰の邊を木の葉や木の繊維で造つたもので覆ふ事を憶ねた。

人間は進化し文化は進んだ。衣服は單に羞恥のためのみでなく寒暑を防ぐ用具ともなつた。

それより天平元禄時代のやうに服装は美をも多分に含むものともなつた。

エリザベツ朝時代に尻のあたりを變更に突出したのも過然ではない。

維新の當時洋服を輸入した日本は昭和新時代の今日洋服は古いものとなつた。

流行錦紗、ハッピーコートはもうおそい。支那服、オランダ服さては赤い露の服装から黒シャツまで取込んでゐる。

衣服に時代の流があり國民性がある。アダム、エブの原始以來、時代的にも國民的にもすべて實用よりも美を第一に置くやうなつた少し位寒くとも美のためには薄着する。また熱くとも厚着する位はなんとも思つてゐない。

ドイツの碩學ゾンバルト博士は『すべての贅澤は性的感情から起る』と、言つた。女が美服を欲がつて必要以上購買するの心理は要するに異性の注意を内引しようとする性感の發露に外ならない。

若い女が男の前に若い男が女の前にランプ屋さんのやうにボロ着をへつさげて歩けない。美服を着度い慾望のおこるのは性感情の存在を證する。美服の前には男も女も吸込まれてゆく事は争はれない事實である。美服の裏には神秘的な性の感情が潜んでゐる。

ゲイシャガール、ステッキガール、マネキンガール等は性感情をそゝる衣服の道具だ

性感情は衣服のみならず凡の行爲に働いてゐる。性のため生活し勞働し學問する。カフエーが增し廓が榮え淫賣街が賑ふ。性感情のため化粧品店と呉服屋と洋品店が繁昌する。性感情のため酒や花柳病の藥が賣れる性感情のため宗教家が傳道し僞善信者が出來る。寝る事も呑む事も働く事も遊ぶ事も寝る事も祈ることも一切は性の感情から出發してゐる。異性の前に孔雀のやうに飾る女蘇鐵の様な頭にセーラズボンのモボにたいしてたやである

ソロモンの榮華も始皇帝の阿房宮も紂王の酒池肉林もクレオパトラとアントニーも皆性感情から來た出來事だ。過言すればトロイ戰爭も又然である。考見ると人間社會は凡て性の感情で綴られ編まれて來た。そして衣と性との關係又頗る深かつた事實を見逃せない。

朝顔の話

咲き初めたら

鉢に移殖させた朝顔も漸く伸びて、花の咲くのも、もう間近になりました、そこで朝顔の花をよく咲かせる方法を述べませう、すなはち朝顔に最も大切な事はよく乾かし、よく濕すと云ふ事であります、朝夕の灌水を充分にする事は勿論ですが、花がしぼんだなら直に摘みすてゝ日光に當るのです、つまり苦しませながら可愛がつてやるわけです、そうすれば花の爲めに大變よい結果を與へます、萎んだ花は摘み去らないと實を結ぶ爲めに養分を要しますので翌日花の爲ありません、夜は夕の灌水と共に充分露に打たせるが良いのです、室内に鉢を持ちこむ事は大概三日に一度位なら差支ありません、それも夜分は外に出して露に打たせるのが良いのです、花が咲いてゐる間も蔓は日々伸びますがこれが長くなりすぎるのは禁物ですから葉を二つ位殘して摘み取つてしまひます。なほ鉢を同じ位置にばかり置くと技ぶりが惡くしますから時々向を變へるやうにしなければなりません、斯うして整へるが良いのです、種子を取る場合には人工受胎法を行ふが最も良い方法です、これは朝花が咲くと同時に花粉をめしべにつけてやり、思ひ切つて花の先を結んでしまひます、このやうにすると純粋な種子が得られます、尤も雑種を作るにも他の花の花粉をつけてやれば出來ます。

明日の吉凶

新暦七月二十七日　舊暦六月二十一日

▲一白　未だ全く平安の域に達せず萬端注意すべし▲二黒　氣を締めて掛れば大に引立てらるゝ大吉日▲三碧　手數が掛りてもその割合に利得に薄き日▲四綠　人を倚頼にすると時に事々に外れ勝となる▲五黄　朝の氣が惡くとも奮鬪の効大に現るべし▲六白　不注意より過誤を生じ來ることあり進むは凶▲七赤　天斗り先きに出でゝ足の思ふ様進まぬ日▲八白　勇氣を振作して闘むときは大抵の事は成る▲九紫　自らを知りて高ぶらざれば榮達を見るべし

小説　死を超ゆる者（47）

三上於菟吉作　布施平八郎畫

薄きえにし（四）

然し彼は心の底にこの時たぞつと何ものかに呼び覺まされたやうに笑つた

『君さへ信じてくれゝば……僕はたとへとき子さんすら信じてくれなくとも、男らしい自信を捨てゝはならなかつたのに……僕は出るところまで出て、言ふべきことを言つて、そしてやがて降りかゝつて來る運命に靜かに忍ばねばならなかつたのだ』

この時勇は初めて自己の心底に何物をか自覺したやうな安心と自信とを抱いてとき子のやさしいあの一言に勵げまされて自分は如何にしても正しい道を歩み過去の罪惡を反省してこの夢の如き迷言すら一刻も早く醒めねばならぬといふ問ねがむらむらと、自分の胸について來るのであつた

『とき子さん、有難う、僕は何處までも男らしく降りかゝる運命に堪え忍んでこの闘ねとなやみを永遠に去ります、本當によく言つて下された、僕は堪ね忍びます、堪え忍ひます』

『本當に自暴になつてはいけませんわ』

と、とき子は消えるやうな聲で言つたが彼女はまだ涙を流さずには居られなかつた

『それで僕は行く道は決つたが君はどうするね、とき子さん』

と、勇は沈んだ聲で言つた

とき子はうなだれた、彼女はすゝり泣いた

『僕はそれを聞いて行きたい』と、勇はたしつぶしやうに言つた

『私あなたのことばかり考へてゐて、自分のことはちつとも考へてゐなかつたわ、あなたが若し本當に新聞に書いてあるやうなことをなすつたのなら……』

『その時には君は？』

と、勇は言つた

『その時には』

と、とき子は下の方を眺め光りながら流れる水を眺めながら言つた

『私、死んでしまはう……』

勇は言はなかつた、聞ねたのはとき子の咽び泣きだけであつた

『而し、事情は別にあつたんだ』と、勇はしばしして言つた

『君は死んではならない。もうそんなつまらないことは考へないでも好いが……』

『でも矢張り私……』

『成程君には、まだ毛虫の様な未來が殘つてゐた』

と、勇は憂うつにうなづいた

『私どんなことがあつても聞さんの所なんぞへは……』

『でもた父さまに上げる金も出來ず、僕は今後の目的はつかず、君が若し聞の所へ行かなければた父さんは罪人になるより他はないでせう』

『でもあなたさへ獄舎へ送られるときに……』

『いや、それはいけない。た父さんを罪人にしたくなければこそ、僕はこんな危險を冒したのだ』

『けれども、どうして私聞さん所へなんぞ……』

『本當に僕だつて君を、君嫌ひな金持の手に渡したくないから、ひどい罪を犯したのだつた、僕は……僕や君はどうしたら好いのか僕には解らない』

廣告
痔の最高内服藥　ダイサン錠
鼻のクスリ　チクノール錠
平町五丁目角　山野邊藥局

暑中御見舞申上ます　舘員一同
七月二十六日ヨリ　プログラム
松竹キネマ加茂大作映畫　原作星哲六
主演　林長二郎　千早晶子
劍史　風雲城史　全
星影淡き南國の城下、陰謀、厲十…幾多の忠士は倒る熱血の士相澤新八郎は何處にある忽ち起る國内亂騒……は
松竹キネマ蒲田超大作名篇
主婦の友連載小説　原作吉屋信子
柳さく子、川田芳子、飯田蝶子其他
悲曲　空の彼方へ　全
それはいみじく涙多き姉妹愛の極致奏する曲はアエ、マリアの讃への歌ぞ空の彼方に……空の彼方に響きゆく
日活入社第一回作品　片岡千惠藏
助演…近藤伊與吉、ジョージ桑、別府里子
武道活殺　相馬大作　全
慷慨悲憤、秀之助の大作が辛苦涙なくして見る能はず……此處に男氣のある奴が二三現はれて日助勢振り　武道振起の活殺劍を見よ
學生デー入場料協定前例の如く打破（中等學生、二〇　小學生、一五）
平舘

新築移轉
耳、鼻、咽喉科
合津醫院
平町仲田町七一（電話五五九）

外科　婦人科　内科　X光線科
外科一般　耳鼻科　花柳科　産科　人　外科
赤心堂病院
平町田町（電四七五）

純天然氷賣出し
いよいよ純天然氷が來りました、ほとんど原價同様にて皆さんに御願致しますから何卒御用命を願ひます
開店披露の爲向ふ三日間限り特賣致します
特賣値段　二貫目迄　一貫目に付き十錢
值段　三貫目以上　仝　八錢
普通　二貫目迄　一貫目に付き十二錢
值段　三貫目以上　仝　十錢
御注文は電話六三三番へ配達迅速
川魚料理　賣出し
平二丁目横　魚清

釀造元　清世界　吉清水屋
銘酒　各炭鑛御用達
石城小名濱町　小野晋平　電話六番

夏の適品を豊富に取揃へて!!
品質に!!柄行に!!!又廉價に!!!
御用命はどうぞ弊店へ!
七月一日ヨリ
夏の着尺モスリン陳列
中形と綿絽陳列
三井呉服店　電三八番

優秀なる最新型腕卷時計
蓄音器　眼鏡　各種レンズ　各國時計　ダイヤ　指輪　装身具
鐵道省御用
クジャク印蓄針特約店
金光堂時計店
平町五丁目　電話七三六番
貴金屬御注文製作品早く良奉仕的特價に致します

割烹　末廣　電話四三二

ボール箱製造
大形屋商店
平町才槌小路廿五番地踏切際
値段は特に大勉強
御注文に應じます

電氣吹込　新製法
オリエントレコード
（新譜）大阪行進曲（兩面一枚　金一圓也）
逢ふにや明るし道頓堀は
ジャツに浮かれて人目を忍ぶ
甘い酒のみや櫓の上に
芝居もときの月が出る
蓄音器の修繕は安く良く早く
特約店　大谷時計病院　電話一一九番

急告
一、米松大角材破格提供
一、長四十尺迄デ「原木の儘販賣」
一、販賣代金尺〆壹本ニ付金十三圓五十錢割
一、拾參尺切尺〆計算トス
右御買入御希望ノ御方ハ多少ニ不拘當店へ御用命御願度此段謹告仕候也
昭和四年七月二十日
平町字搔槌小路
白川屋材木店　電話七一五番

生花教授
池ノ坊流　生花を懇切丁寧に御教授いたします。お遊びがてら御出で下さい。
平町十五丁目通り
須藤まつの

所員採用
平及郡山ニ勤務スル至誠至勤ノ者數名採用ス
御希望ノ方ハ履歴書至急左記宛送付セラレタシ面會日追テ通知ス
平郵便局私書函第六號
東京商業興信所
平出張所
支所　郡山

夏のスポーツ
山海の享樂を奨む
登山も、水泳も他の競技に比べて實行が容易で興味有り…健康增進で有ります。就中水泳競技の鶴田選手が北歐アムステルダムの空に揭げた日章旗に依つて遊泳は競泳と進化し今や水泳界は目覺しく發達しました
海にプールに
國際形　競水着　六〇ヨリ
水褌ゴム入二重　一五
丸善製　一二
水キャップ　一五
各學校會社御用達
大塚支店運動具部
平田町　電話七〇二番

亂暴極る小濱漁業組合
許可を得ずに漁業開始
五十嵐技師斷然處分を執行
絶對に不許可が當然

植田町小濱漁業組合では關西の漁業家奥田某氏と賃貸契約の許に小濱沖合に大敷網漁業執行の許可方を縣に出願したところ同沖合は石城沿岸に於ける唯一の餌（鰹に要する）漁場にして若し此處に大敷漁業をされては各漁業家一大恐威である所から小名濱、江名、豐間、四倉の各漁業組合より猛烈なる許可反對運動起り當局も許可し得ざる事情にある旨本紙屢報したが小濱漁業組合では民政黨所屬某々縣議と諮り吾黨内閣の威光を夢み亂暴にも許可を得ざるに拘はらず今月初旬より漁業に着手し既に二個の網を投じたる事が縣の知る所なり二十五日縣より五十嵐技師出張調査の上「漁業法に制定される許可を得ずして漁業をなしたるものは千圓以下の罰金に處し器具を拔收するものとす」の條文に基き斷然處分を執行したが然かも法律を無視し斯くの如き暴擧を敢てする同組合に許可する如きあらば法の威信に拘はるのみならず今後

此の種の暴擧をなすもの續出するは明かの事にして縣當局の將來權威保持上よりも斷然許可せる事が妥當であり充分理由ありと觀られてゐるから萬一にも許可する如き事はあるまいとの觀測である

産業開發の羅針
精勵三十年
石城産業の發展
尾形治右工門氏

産業の隆昌發展は優秀なる指導者と當業者の自覺とに俟たねばならぬ、殊に團体事業に於てこれを指導啓發すべき人の優劣如何は直ちに事業の興廢に至大なる關係を有する事は素より論を俟たざる所である

石城郡の産業殊に養蠶業の近年目覺ましき發達は寧ろ驚異に値ひあり此の發展率を以て進むときは立派な養蠶業の本場として信達地方をも遙かに凌駕するの時も蓋し必ずしも遠き將來でない事が首肯出來るであらう。事實石城の養蠶業は今や正に農業と本副顛倒の優勢地位を占むるに至つた迄の發展の過程には種々の理由はあるが就中全郡を一致網羅せる販賣利用組合の名實ある活動貢獻の賜たる事を否む事は出來ない

同組合は本郡駐在農林主事尾形治右工門氏の熱誠なる奔走努力によつて組織後着々組合事業の擴張と發展に勤め郡養蠶同業員制の改正と共に農林主事組合と相俟つて養蠶飼育上幾多の改善と指導奬勵に盡す處あり前年四倉町に繭市場を開設し以て繭價の統一と現金取引の制度を實施し專ら養蠶業の發展と當業者の福利增進に貢獻せる同組合の存在を知るものは之れ悉く尾形氏の努力の賜として尊敬を拂ふに何人も異存の無い所である

尾形氏は仙臺市の産三十年の官吏生活に始終し宮城縣産業主事より大正十四年職として本郡に駐任今日に至つた人で其の功績顯著なるものあり産業組合奬勵功勞者として綠綬功勞章を授與され更らに高等官五等從六位勳六等瑞寶章を賜る

石城の天地、山海無限の富と美田を藏し更らに發展の可能性を有するも之れを指導奬勵すべき優秀なる専門家の力に俟つもの極めて多く地方當業者は尾形氏の如き實力奮鬪家の將來に望みを囑してゐる

時事新報の
バスで行く
拔天一行來平

東京時事新報社の東日本乘合自動車乘次連絡競爭の東廻り甲斑肥後選手と漫畫拔大畫伯一行は二十八日午後六時十五分平町に到着（地點町役場前）住吉屋本店に一泊の上廿九日午前七時平發湯本を經て植田、平潟方面に向ふ豫定であるが磐城自動車協會平支部では自動車數臺を湯本町まで出迎へ更に同會主催で廿八日午後七時より住吉屋本店に歡迎會を開催する筈だが各乘合自動車は「バスで行く」のポスターを自動車に覗り前景氣をつけてゐる

邪魔になつて困る
平湯本間の軌道
平土木監督所から
撤去方を迫る

石城郡平町より同郡湯本町に到る日本鐵道事業株式會社の軌道は最近自動車のため壓倒せられて乘客なく約半年前から營業を中止し軌道は破損甚だしく殆ど用をなさない狀態に立ち到つて居るが同所は國道筋で車馬の交通織るが如く同軌道が頗る邪魔と廿四日平土木監督所から縣に同軌道の撤去方を交渉して來た、併し縣としては相當重大な問題なので一應會社に對し一時的の休業か或は事業の中止かを確めた上會社に對し適當の處置をとることに決定し直に同會社に對し照會狀を發した

小名濱商港の繼續
五萬圓だけ復活
地元民は將來を期して
兎も角も喜ぶ

小名濱商港復活運動の經過については本紙屢報の如く爾來地元並に縣當局關係者の猛烈な復活要求運動稍々効を奏し昨二十五日大藏、内務當局の折衝により本年度工費五萬圓（内國庫補助一萬圓）たる事となり上京中の運動委員は漸く安堵の胸を撫で下し今明日中に歸町の筈である、而して今年度六十五萬圓の工費が僅か五萬圓では殆むど何等纏まつた工事は出來ないにしても命脈だけを繼ぎ得たので地元民は將來を期し今の場合兎も角喜んでゐる

鮫川の遊覽船

石城郡錦村鮫川誘揚目では昨夏始めて流れ清き鮫川に遊覽船をうかべて大成功を來したので今年も二十一日より開始したが一團体二十名とし遊覽船に地曳網船一隻を付け中食調味料一切にて金二十二圓にて取扱ふ事となつた

小名濱商港復活
運動費寄附芳名（一）
領收證に代ふ　小名濱町役場

一金五拾圓	加納五郎
一金百圓	小名濱町下町上組下組納税組合
一金壹圓	馬上兵吉
同	小野七兵衛
同	鈴木駒次郎
同	鈴木貫一
同	樋口速
同	上遠野新吾
同	吉川健太郎
一金五拾錢	星喜作
同	大平福司
同	弓野寅吉
同	三戸源之助
一金壹圓	内山浩七
一金五拾錢	八巻儀助
同	新妻理髮店
同	柳葉忠吉
一金壹圓	小野德次郎
同	大〆
同	星野熊吉
一金壹圓	砂押忠吾
一金五拾錢	渡邊鶴次
同	鈴木良雄
同	遠藤龜次郎
一金壹圓	永山留次
一金五拾錢	寶月
一金壹圓	相澤宙松
同	金成廣吉
同	野州屋
同	馬上松太郎
金五拾錢	鈴木要
同	上野臺又吉
一金貳拾錢	竹中ミネ
同	大平留吉
同	鈴木タキ
一金參拾錢	竹中サド
同	草野トメ
一金五拾錢	鈴木浮雄
同	黒田三嗣
同	作山桂藏
同	佐藤熊次郎
同	高木喜久治
一金壹圓	若松牛太郎
同	馬上政二
一金五圓也	磐城海岸軌道會社
一金五拾錢	馬上宗
一金壹圓	馬上德十郎
一金壹圓	齋藤兵衛
同	佐川榮一郎
同	佐川松太郎
同	田中權次郎
同	吉田政五郎
同	市施喜代松
一金五拾錢	小野務
同	小松重兵衛
一金壹圓	富田榮吉
一金五拾錢	小野宗次
一金五圓也	二本松電氣會社
一金五拾錢	酒井嘉市
一金壹圓	安齋茂
一金五拾錢	作山晋太郎
一金壹圓	志賀市之助
同	白土運吉
同	飯塚勝治
一金五拾錢	大内勝惠
同	橋本要
同	池田善之助
同	阿久津健藏
一金五圓也	〇西滓送店
一金壹圓	野口仙吉
同	志賀春雄
一金五拾錢	木皿樞左工門
同	作藤貞吉
一金壹圓	成田政次郎
同	黒澤汎
同	星野倉造
同	吉田作之助
同	木田熊太郎
同	馬上力造
同	田島熊次郎
同	若松眞琴
同	馬上源藏
同	小松春吉
同	馬上喜工衛門
同	小野治郎兵衛
同	佐川宙吉
同	不磯熊太郎
同	山野新吉
同	竹中重造
同	長瀬喜工衛門
同	小松松吉

平税務署で
雜種地整理
各町村別反別

平税務署では本年度雜種財産整理として左の國有地を賣却するに決定近く入札に附すると

▲平町六、〇二四歩▲飯野六一九▲鹿島一、一四▲江名六五、六一九▲豐間二二五、三一〇▲高久一四六、八一四▲夏井一二三、七二五▲神谷一二、三一一▲草野三一四▲大浦一〇〇、〇一四▲四倉二一四、二〇九▲大野一六、七〇六▲平窪一〇、七二〇▲赤井一七、四〇八▲下小川三、八一六▲上小川八、九二一▲川前一七、七一四▲三坂四二〇、三一四▲澤渡五一、六二三▲永戸四▲箕輪七二七▲好間一一、八二五、▲内郷一、三一六▲湯本一、〇〇一▲磐崎八、五二二▲上遠野一二二〇二▲入遠野一、三〇〇▲田人七、八〇三▲荷路夫五▲貝泊八、七二〇▲川部一一、七一七▲勿來二〇四、九一七▲錦五六、七一六▲山田二七二一三▲植田四九、一一九▲渡邊一四、二一三▲泉八四、二〇六▲玉川一〇、三〇九▲小名濱三七五〇四

一時終熄の傳染病
又たも漫延の兆
平町の收容八名

石城郡地方は入梅期前後に腸チブス其の他の傳染病が發生し危く蔓延の兆あつたので當局は極力豫防に腐心し各町村に注意書を配布したり羅病者には徹底的の消毒をなし一時漸く終熄したがまた〳〵各地に腸チブス、ヂフテリヤ、パラチブス等の傳染病が發生し傳染病舍には現在八人收容者があり平署では非常に狼狽し食ひ止め策に腐心してゐるが二十四、五の二日間に發生した患者は左の如くで如何に傳染力の猛威であるかゞうなづかれるであらう

（腸チブス）平町紺屋町千葉ハナヨ（四〇）平町八幡小路石川マサ（二八）同彌宜町柳沼勝亥（五六）同柳沼イサ（二八）

（ヂフテリヤ）小名濱町字定西小野カツ（二六）同字仲町高野昭代（一六）

上るは
上る、上る
話もとける三伏の夏
平の氷屋繁昌

石城郡地方はクンと暑くなつて、ほんもの〻夏が、土用が來た。きのう今日の暑さつたらお話にならない。どし〳〵片つ端しから話が溶けて行く、ところで氷も飯へどし〳〵溶けて行く…平署では「氷いどま化し販賣はまかりならぬぞ」ときついお布令を廻してゐるが、無屆朦朧氷水店も最近こそ〳〵と現はれてゐるらしいので署では嚴重に取調べることになつた、燒芋屋、駄菓子屋、しるこ屋、もち屋等この時とばかり早變りして氷水屋となつたものが管内だけでも三百七十余軒に達してゐるが本郡全体では大した數に上るであらう

これらの店は一々檢査を受けるがそれでもその設備が不完全で中にはコップも碌に洗はないで忙しい〳〵とごま化してゐる不屆きなのもある、從つて種々の恐ろしい傳染病菌が混入し易い

毎年の例によると夏期傳染病中氷水の不潔から罹病するものが其大手を占めてゐるに鑑み保健上から捨て置き難しとなし近

平署ではひとり氷水のみならず其他飲食店の一齊調査をなし、以て嚴重に清潔を保たしめることになつた

生きて還つた
花澤選手
大元氣で語る

竹馬で富士登山の壯擧に大成功した平町白銀町花澤輝一君は二十五日夜歸平し二十六日本社を訪問「萬一成功せねば生きて還らぬ覺悟でやつたが幸ひ成功したのは各位の御援助の賜です、全く自身は夢中の爲め危險も何も考へなかつたが應援團の諸君には隨分冷や〳〵されたさうでした」云々

因に花澤君は來る八月五日午後七時廿五分から八時まで仙臺放送局から登山の感想を放送する筈

片倉製絲の
所長更迭
きのう新所長披露

片倉磐城製絲會社は既報の如く最新式御法川式三百釜を据ゑつけ繰業をつゞけ豫期以上の成績を收めてゐるが工場長藤澤行雄氏は今回東京本社に榮轉し後任所長として大宮工場長たりし長野賢造氏着任したので同社では二十五日午後三時より鈴木、井上、荻原の三重役と新舊所長が出席在平日刊新聞記者を招待し同工場を案内し終つて谷口樓で新所長の披露を兼ねた晩餐會を開いた

亂暴自動車
少年を轢く
紺屋町街路で

石城郡内郷村大字小島磐城軌道平停留所自動車部運轉手安藤七郎（三〇）は二十五日午後四時頃湯本町より平町に向つて疾走し平町紺屋町十字路に差掛るや道路にてボール投げをしてゐた同町松田榮橘の栗崎芳保（十）を轢き倒し右足の關節を折り其の他全治一ケ月の重傷を負したので平署は關係者を召喚し嚴重取調べ中であるが最近激增した自動車事故に當局も殆んど持て餘し頭を惱してゐる

トロが脱線し
坑夫即死

石城郡磐崎村藤原炭礦長屋居住石山近藤三次（二一）は二十五日午後十一時頃石炭の搬出作業中滿載したトロがレール故障のため脱線し轉倒したので全身に重傷を負ひ其場に即死してしまつた平署若林警部補は二十六日檢死に出張した

百圓を紛失
青くなつて平署へ

平町地方の暑熱は最近殊に甚だしく平驛の待合室や列車の中には最近非常に忘物が增加して來たが一日二十五件平均で帽子、洋傘、扇子類が多く中にはフンドシ等が忘れられてゐるのも見しなければ見られぬ狀景だが平署へ二十五日午後三時頃手の切れるやうな百圓紙幣一枚をツブで落したと屆出でたのは双葉郡山田岡字南作渡邊齊と云ふが今日になつても拾得屆けがない

三郎轢かる
錦村の踏切で

錦村中田農業一長男三郎（五）は廿四日午後六時半近所の小兒と共に遊びの歸途同村中田原踏切にて無慘轢死をした

平校休暇心得

平第一校では來る三十一日から夏季休暇となるが同校では各生徒に休暇中の心得書を配布した

大平氏長逝

山田村大平又一氏は病氣加療中の處藥石効なく廿四日午前九時逝去した、氏は郡南有數の請負業者として溫厚正義信望を集めた人で本年七十才葬儀は廿八日午後三時自宅出棺佛式で執行すると

劇と映画

●●●●●●松本錦枝大好評　聚樂館

東京歌舞伎名題松本錦枝大一座の初日開演は多大の好評を博したが二日目今晩狂言としては伽羅仙臺萩、源平布引三段目、三勝半七等で人氣頗る好し

稻發育不良
小名濱玉川方面

郡内に於ける稻作の水害調査に縣から古賀農林技師出張した處既報の如くだが調査狀態を聞くと殊に水害が甚しかつたと云ふ小名濱、玉川方面を詳細調査したが流出した田地は大半復舊され案外の好成績で憂慮した程でもなかつたが幾分植付遲れのため發育が順調でないが心配する事はないと

第十九期 營業報告
昭和四年上半期

貸借對照表

資産之部	
未拂込資本金	三七五、〇〇〇、〇〇
線路並内工作物	五三九、四五四、四五
機械器具貯建物什器藏品及土地	一〇〇、一五六、八七
有價證券	一四、九〇〇、〇〇
假拂金	九六、六一六、一六
受取手形及未收入金	一二五、九三九、九四
發電所勘定	一、五九八、一〇三、九七
變電所勘定	一三四、四二六、三五
預ケ金及現金	二九、四〇一、四一
合計	六、六四〇、九九八、一五

負債之部	
資本金	五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇
諸積立金	一三八、三九一、〇〇
假受金	四、〇七二、四三
社債及借入金	一、三八〇、〇〇〇、〇〇
支拂手形及未拂金	五三、九六七、三五
未拂配當金	九二三、三三
當期利益金	七四、六四五、一五
合計	六、六四〇、九九八、一五

利益金處分

當期利益金	七四、六四五、一五
内諸償却	五、〇〇〇、〇〇
社債利子引當	七、九八八、七五
諸積立金	五、〇〇〇、〇〇
役員賞與金	三、五〇〇、〇〇
株主配當金（年八分）	五〇、〇〇〇、〇〇
後期繰越金	三、一五六、四〇

昭和四年六月參拾日

植田水力電氣株式會社

取締役社長　金成通
取締役　安島重三郎
同　白井博之
同　高岡唯一郎
同　小林藏次
同　古川傳一
監査役　根本祐太郎
同　馬上誠一

追而監査役任期滿了ノ處改選ノ結果根本祐太郎馬上誠一ノ兩氏再選重任セリ

内科、小兒科
花柳病科
入院應需
藤沼醫院
平町
電話平長五〇七番

當社無限責任社員大平又一儀病氣中の處藥石効なく廿四日午前九時死去仕り候間御通知に代へ此段謹告仕り候

追て葬儀は廿八日午後二時自宅出棺佛式にて相營み申候

昭和四年七月廿五日

石城郡山田村高津
土木建築請負
合資會社 大平組